

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○雇用支援の充実

労働環境対策事業

【 産業振興課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 雇用支援の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者等

意図 勤労者の労働環境の向上を図るため。

効果 基礎資料を得るとともに労働問題への啓発を図り、労働団体への補助金の交付を通して勤労者の福利厚生の実施を図りながら、雇用対策の実施を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 労働動態調査、地区労働団体との協議、補助金の交付を行った。
- ・ 雇用対策事業を実施し、雇用促進を図った。
- ・ 求職者向け就業支援事業を行った。
- ・ 労政全般に係る庶務的業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,366	4,366	4,273		93
主な支出内訳				
1節 事務補助嘱託員報酬 2人				2,056
9節 事務補助嘱託員費用弁償				65
11節 消耗品費				80
燃料費				34
車両修繕料				130
12節 電信料				73
雇用対策セミナー実施広告料				157
13節 雇用対策セミナー実施委託料				248
就労困難若年者支援委託料				432
求職カウンセリング事業委託料				246
事務用品等搬送委託料				65
14節 複写機等賃借料				46
19節 湘南合同就職面接会実行委員会負担金				150
県駐労福祉センター運営費補助金				33
労働祭補助金				300
鎌倉地区勤労者体育大会補助金				150
27節 自動車重量税				8

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○働く環境の充実

勤労者福利厚生事業

【 産業振興課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 働く環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者

意図 勤労者のために融資預託、住宅資金利子補給、その他の支援を行うため。

効果 勤労者の生活環境向上及び福祉の増進

【 事業の内容 】

- ・ 勤労者の福利厚生のための講座やセミナーを委託して開催した。
- ・ 中央労働金庫から住宅資金融資を受けた労働者に支払利子額(平成22年9月償還開始分まで)の一部を、勤労者退職金共済機構等との新規契約者に掛金の一部を、それぞれ補助した。
- ・ 福利厚生事業を行う労働団体に補助金を交付した。
- ・ 市内に居住、勤務している勤労者の生活の安定と福利厚生の増進を図るため、勤労者生活資金融資を実施する中央労働金庫に資金を預託した。

鎌倉市勤労者生活資金融資利用状況

	新規貸出(27.4～28.3)		貸出残高(28.3末現在)	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
生活資金	24	43,080,000	81	70,483,765

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
32,465	32,379	31,151		1,228

主な支出内訳

13節 勤労者福利厚生講座委託料	267
19節 住宅資金利子補給金	101
中小企業退職金共済掛金補助金	253
三浦半島地域労働者福祉協議会補助金	530
21節 中央労働金庫預託金	30,000

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○働く環境の充実

勤労者福祉支援事業

【 産業振興課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 勤労者福祉
施策の方針 働く環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者

意図 湘南勤労者福祉サービスセンターの活動を支援するため。

効果 勤労者の福利厚生の実現

【 事業の内容 】

- ・ 湘南勤労者福祉サービスセンターへ委託して、労働相談等の事業を行った。
- ・ 中小企業勤労者の福利厚生の実現を目的として事業を行う湘南勤労者福祉サービスセンターへ負担金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,108	26,108	25,619		489
主な支出内訳				
13節 湘南勤労者福祉サービスセンター労働相談等事業委託料				813
19節 湘南勤労者福祉サービスセンター運営事業費負担金				24,806

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○技能振興の充実

技能振興事業

【 産業振興課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 技能振興の充実

【 事業の目的 】

対象 技能職者

意図 技能職者の技術水準の向上や、社会的地位の向上を図るため。

効果 技能振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・技能功労者等の表彰、技能祭の共催及び技能職団体連絡協議会の活動を支援することにより、技能振興を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
500	500	378		122
主な支出内訳				
1節 技能者表彰選考委員会委員報酬 9人				27
8節 技能者表彰記念品等報償費				81
19節 技能職団体連絡協議会補助金				270

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

市民活動部産業振興課(勤労者福祉担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

主な支出内訳

職員給与費	31,309
・ 2節 給料 一般職	14,260
一般職職員 3人	
・ 3節 職員手当等	12,088
扶養手当	523
地域手当	2,365
通勤手当	444
超過勤務手当	669
休日給	85
管理職手当	986
期末勤勉手当	6,423
住居手当	353
児童手当	240
・ 4節 共済費	4,961
市町村職員共済組合負担金	

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 10 会館管理費

◎勤労者福祉 ○働く環境の充実

勤労福祉会館管理運営事業

【

産業振興課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 働く環境の充実

【 事業の目的 】

対象 旧レイ・ウェル鎌倉

意図 旧レイ・ウェル鎌倉の管理をするため。

効果 旧レイ・ウェル鎌倉の最低限の維持管理を図る。

【 事業の内容 】

・ 旧レイ・ウェル鎌倉の管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,069	1,069	752		317

主な支出内訳

11節 旧レイ・ウェル鎌倉光熱水費	287
12節 電信料	42
13節 旧レイ・ウェル鎌倉機械警備委託料	249
旧レイ・ウェル鎌倉電気設備点検委託料	174

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 5 農業委員会費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

農業委員会事務

【 農業委員会事務局 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農地法等に基づく農地問題の公正円滑な処理、農地の農業上の利用増進、農業経営の合理化を行うため。

効果 鎌倉市に適した都市農業を目指す。

【 事業の内容 】

- ・ 農業委員会委員報酬の執行、遊休農地解消対策事業の実施など農業委員会に関する事務事業を行った。
- ・ 農地管理システムを運用し、市内農地について農地法に基づく適正な管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,076	8,076	7,951		125
主な支出内訳				
1節 農業委員会委員報酬 16人				6,202
8節 収穫まつり入賞記念品				5
9節 農業委員費用弁償				41
事務局職員普通旅費				40
10節 農業委員会交際費				0
11節 遊休農地解消対策事業等消耗品費				283
13節 農地管理システム地図データ変換業務委託料				55
14節 農地管理システム使用料				1,319
19節 農業委員会職員事務研究会会費負担金				6
主な特定財源				
・ 国県支出金				979

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 10 農業水産業総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

市民活動部産業振興課(農水担当)

農業委員会事務局

【 職員給与費 】

(単位:千円)

主な支出内訳

職員給与費	50,641
・ 2節 給料 一般職	23,835
一般職職員 7人	
・ 3節 職員手当等	18,727
扶養手当	593
地域手当	3,738
通勤手当	547
超過勤務手当	2,112
休日給	69
管理職手当	493
期末勤勉手当	9,893
住居手当	787
児童手当	495
・ 4節 共済費	8,079
市町村職員共済組合負担金	8,078
雇用保険料	1

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

農業振興運営事業

【 産業振興課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農業施策上必要な協議調整や事業を行い、農業経営の安定と農産物の安定供給を図るため。

効果 農業経営の安定と農産物の安定供給

【 事業の内容 】

- ・ 農業者・関係団体・公募市民等から組織する協議会において、鎌倉の農業振興について協議・検討を行った。
- ・ さがみ農業協同組合に鎌倉ブランド事業や秋の収穫まつり事業などに係る補助金を交付し、農業の振興を図った。
- ・ 植木剪定材を利用し、農業に適した堆肥を作成・販売することにより、化学肥料の使用量を削減し、環境保全型農業を推進した。
- ・ 人・農地プラン(地域農業マスタープラン)に基づく、農業の担い手の確保、遊休農地の解消及び国の施策に基づく担い手の育成・支援のための制度の円滑な運用を図った。
- ・ 前年度から事故繰越した、降雪災害緊急支援事業補助金を農業用施設に被害を受けた農業者に交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,910	9,158	7,050		2,108
主な支出内訳				
7節 臨時的任用職員賃金				652
8節 手広川水路清掃作業等報償費				108
11節 消耗品費				77
13節 鎌倉ブランド堆肥パッキング等委託料				1,405
地産地消推進パンフレット作成委託料				93
19節 農業関係団体負担金				198
農業振興事業費補助金				2,450
新規就農者確保支援事業交付金				0
環境保全型農業直接支援事業交付金				0
農業経営基盤強化資金利子補給金				39
降雪災害緊急支援事業補助金(前年度からの事故繰越し)				2,028
主な特定財源				
・ 国県支出金				1,571

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

市民農園事業

産業振興課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 市民

意図 市民が野菜及び草花の栽培を通じて自然と触れ合い、農業への親しみ及び理解を深める機会を提供するため。

効果 市民が農作業を行うことにより、農業への理解が得られるとともに、農地のレクリエーション機能の活用が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 大船地区市民農園について、引き続き維持管理を行った。
- ・ 土地所有者が事業主体となる市民農園の開設については新規の具体的な事案はなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,324	1,408	1,398		10

主な支出内訳

8節 市民農園耕作指導報償費	504
13節 市民農園草刈等業務委託料	255
市民農園区画整備業務委託料	639

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

水産業振興運営事業

【 産業振興課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 水産関係団体との連携を図るとともに、栽培漁業の推進などにより、漁業経営の安定化を図り、地域に即した漁業の振興を図るため。

効果 つくり育てる漁業の推進を支援することにより、水産業の振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 漁業協同組合への補助金の交付、各種水産関連団体への参加等により、水産業の振興を図った。
- ・ 漁業者・関係団体等で組織する協議会において、鎌倉の水産業振興について協議・検討を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,548	2,548	1,968		580
主な支出内訳				
8節 鎌倉市水産業振興協議会委員報償費				90
11節 消耗品費				78
19節 神奈川県水難救済会等負担金				300
漁業施設等災害見舞金				0
鎌倉漁業協同組合事業費補助金				1,000
腰越漁業協同組合事業費補助金				500

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費
 ◎産業振興 ○農業・漁業の振興

漁港施設管理事業

【 産業振興課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 腰越漁港施設の良好な維持管理を行うため。

効果 円滑な漁業活動の推進を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 漁港施設維持運営計画に基づき、漁港施設の維持管理を行った。
- ・ 腰越海岸の飛砂防止のための海浜整地業務や、必要な漁業施設整備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,246	5,246	4,099		1,147
主な支出内訳				
1節 腰越漁港指定管理者選定委員会委員報酬 5人				208
11節 腰越漁港転落防止柵等塗装修繕料				1,167
腰越漁港投光器用架台取替等修繕料				261
13節 腰越漁港フェンス設置業務委託料				282
腰越海岸海浜整地業務委託料				1,231
腰越漁港深浅測量業務委託料				950

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

鎌倉地域漁港対策事業

【 産業振興課 】

※重点事業(事業CD:6-1-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 鎌倉地域の漁港建設について検討するとともに、漁業者の就労環境の改善、漁船の安全確保、台風等の災害対策などの当面の支援策を実施するため。

効果 当面の支援策の実施により、鎌倉地域における漁業の安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 将来的な漁港整備について検討した。
- ・ 台風等の災害対策や漁業者の就労環境の改善を図るため、関係機関との調整を図りつつ、必要な基礎調査を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,000	14,000	13,633		367

主な支出内訳

13節 自然環境等調査委託料	13,298
地形測量委託料	0
漁業支援施設計画検討支援委託料	335

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工運営事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 商工業の振興、物産振興を図るため。

効果 産業の維持、発展と活力あるまちの創出が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 商工事務事業に係る庶務的業務を行った。
- ・ 萩市、上田市、足利市及び鎌倉市の特産品を一堂に集め、それぞれの物産と観光を市民に紹介する姉妹都市物産展を開催した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,656	2,656	2,577		79

主な支出内訳

1節 事務補助嘱託員報酬 2人	2,056
9節 事務補助嘱託員費用弁償	47
11節 消耗品費	12
13節 姉妹都市物産展開催準備等委託料	462

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費
 ◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【 職員課 】

【 対象となる職員 】
 経営企画部市民相談課(消費生活担当)
 市民活動部観光商工課(商工担当)

【 職員給与費 】 (単位:千円)

主な支出内訳	
職員給与費	44,076
・ 2節 給料 一般職	20,742
一般職職員 5人	
再任用(短時間) 1人	
・ 3節 職員手当等	15,537
扶養手当	642
地域手当	3,352
通勤手当	823
超過勤務手当	638
管理職手当	986
期末勤勉手当	8,586
住居手当	370
管理職員特別勤務手当	0
児童手当	140
・ 4節 共済費	7,797
市町村職員共済組合負担金	6,974
社会保険料	737
雇用保険料	86

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費
 ◎産業振興 ○商工業振興の充実

中小企業支援事業	【 観光商工課 】
----------	-----------

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 中小企業者等

意図 市内の中小企業者の健全な発展及び振興を図るため。

効果 安定的な事業経営・新規事業展開の実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・市の制度融資を実行するための原資となる資金を金融機関へ預託した。
- ・制度融資を利用した際に支払う信用保証料について、その一部を補助することにより、負担の軽減を図った。
- ・経営安定資金融資の利用者に支払利子相当額の一部を補助し、負担の軽減を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
514,414	513,414	509,284		4,130

主な支出内訳

19節 信用保証料補助金	139件	8,800
経営安定資金融資利子補給金	41件	484
21節 中小企業融資預託金		500,000
預託先	4金融機関	
融資件数	116件	
融資金額	475,000千円	

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工会議所助成事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 事業者等の安定的な経営を確保し、商工業の振興と総合的な改善・発達を図るため。

効果 市内中小企業者の経営安定を確保し、商工業の振興と総合的な改善・発達を図ることにより、地域産業の振興と活力あるまちの創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 商工業の総合的な改善・発達と社会一般の福祉の増進を目的とする商工会議所の運営及び事業に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,667	14,667	14,667		0

主な支出内訳

19節 商工会議所運営費補助金	6,935
商工業振興事業等補助金	553
中小企業経営支援事業補助金	7,179

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商店街振興事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 商店街等

意図 商店街が行う各種事業に対して支援を行い、商店街の活性化を図るため。

効果 商店街を支援することにより、まちの活性化と地域産業の振興の実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市商店街連合会の組織強化と活性化を支援した。
- ・ 専門家の助言を必要とする商店街に対してアドバイザーを派遣し、助言・指導を行った。
- ・ 商店街団体の街路灯及び電飾アーチの電気料金の一部を助成した。
- ・ 商店街団体が実施する売上の増加が見込まれる事業、地域住民との交流が見込まれる事業等に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,019	15,019	13,285		1,734

主な支出内訳

8節 商店街アドバイザー謝礼	75
19節 商店街連合会補助金	1,710
商店街街路灯等維持管理費補助金	8,584
商店街活性化事業費補助金	2,916

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工業振興事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 商工業者、商店街団体等

意図 商工業者や商店街団体が事業展開しやすい環境を整備するとともに、中小企業の経営革新を支援するため。

効果 商工業の持続的な発展と、活力あるまちの創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・地域の資源を活用して創業する事業や新しい商品・技術の開発、サービスの提供を行う事業に要する経費の一部を助成した。
- ・市内事業者が情報発信・交流することができるサイトを運営した。
- ・公益財団法人神奈川産業振興センターが実施する経営アドバイザー派遣事業の利用者が支払う費用の一部を助成した。
- ・商業団体が実施する共同施設の改修等に要する経費の一部を助成した。
- ・中小企業者が実施する産業財産権取得事業、展示会等出展事業に要する経費の一部を助成した。
- ・前年度からの繰越明許費により、商工会議所が実施した、(仮称)かまくらスーパープレミアム商品券発行事業に要する経費の一部を助成した。
- ・国の地方創生加速化交付金を活用した企業活動拠点整備事業については、年度内に実施しないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,551	136,551	102,687	30,000	3,864
主な支出内訳				
1節 商工業元気アップ事業選定委員会委員報酬 3人				32
8節 商工業元気アップ事業フォローアップ診断謝礼				50
13節 事業者情報発信・交流サイト運営委託料				778
19節 商工業元気アップ事業費補助金				2,000
経営アドバイザー派遣事業補助金				20
商業振興共同施設設置費補助金				5,785
環境共生事業(企業施設整備事業)等補助金				661
(仮称)かまくらスーパープレミアム商品券発行支援補助金				93,361
企業活動拠点整備事業補助金(翌年度への繰越明許費)				0
主な特定財源				
・国県支出金				93,361

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

公衆浴場助成事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 公衆浴場業者

意図 公衆浴場の健全な運営を支援し、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上に努めるため。

効果 公衆浴場業者を支援することにより、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上・増進に繋がり、
更には地域におけるコミュニティの場の創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 公衆浴場を確保するため、一定の要件を満たす公衆浴場の用水費、燃料費及び光熱費の一部を助成した。
- ・ 公衆浴場の設備の整備に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
484	484	484		0
主な支出内訳				
19節 公衆浴場確保対策事業費補助金				236
公衆浴場設備整備費補助金				248

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費
 ◎産業振興 ○商工業振興の充実

伝統鎌倉彫振興事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 伝統鎌倉彫事業協同組合

意図 鎌倉で唯一「伝統的工芸品」として指定されている鎌倉彫の高度な技術の伝承と地場産業としての振興を図るため。

効果 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う各種事業を支援することにより、鎌倉彫産業の振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉彫振興事業所の維持管理を行った。
- ・ 伝統工芸品産業の振興を図る団体に加入し、情報収集を図った。
- ・ 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う鎌倉彫創作展、小・中学生の体験教室等に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,659	1,659	1,572		87
主な支出内訳				
11節 鎌倉彫振興事業所光熱水費				437
鎌倉彫振興事業所維持修繕料				203
12節 鎌倉彫振興事業所消防用設備保守点検手数料				24
13節 鎌倉彫振興事業所警備委託料				127
19節 伝統的工芸品産業振興協会負担金				40
伝統鎌倉彫振興事業補助金				741

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 15 消費生活対策費

◎消費者対策 ○消費者施策の推進

消費者自立支援事業

【 市民相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 消費者対策
施策の方針 消費者施策の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 消費者被害を未然に防ぐなどの啓発を行うとともに、商品・サービスの購入に係る苦情を受けるため。

効果 消費者被害防止、食の安全などの情報を市民に向けて伝え、また消費者の苦情相談に対し、あっせん、助言、調停などを通じ被害の救済を図ることができる。

【 事業の内容 】

- ・消費者被害を未然に防ぐため、消費生活講座、移動教室や広報紙への掲載などによる啓発を行った。
- ・消費生活相談員による消費生活に関する苦情相談、助言を行った。なお、消費生活紛争調停委員会の調停に付する案件はなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,307	15,307	13,371		1,936
主な支出内訳				
1節 消費生活相談員報酬 7人				10,748
消費生活委員会委員報酬 9人				144
消費生活紛争調停委員会委員報酬				0
7節 臨時的任用職員賃金				171
8節 移動教室、講座講師等謝礼				440
消費生活相談員助言報償費				300
9節 消費生活相談員費用弁償				962
11節 消耗品費				82
印刷製本費				175
12節 電信料				37
13節 消費生活相談員助言委託料				300
19節 消費生活相談員研修負担金				12
主な特定財源				
・国県支出金				3,437

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎観光 ○地域が一体となった観光振興の推進

観光運営事業

観光商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 地域が一体となった観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 「住んでよかった、訪れてよかった」まちづくりに取り組むため。また、他の自治体と連携し、広域的な観光客誘致を行うため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感の高揚が図られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 神奈川県観光協会などの関係団体、協議会と連携し、誘客キャンペーンやパンフレットの作成などの広域観光宣伝や情報交換等を行った。
- ・ 第2期鎌倉市観光基本計画の推進及び進行管理を行った。
- ・ 第3期鎌倉市観光基本計画を策定した。
- ・ 観光施策の推進に必要な経費に充てるため、寄附金による収入確保を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,094	5,094	4,768		326
主な支出内訳				
1節 事務補助嘱託員報酬 2人				2,056
鎌倉市観光基本計画推進委員会委員報酬 9人				265
7節 臨時的任用職員賃金				676
8節 鎌倉市観光基本計画進行管理委員会委員報償費				109
9節 事務補助嘱託員等費用弁償				43
11節 消耗品費				74
13節 寄附金収納代行業務委託料				15
観光振興シンポジウム開催業務委託料				300
19節 富士箱根伊豆国際観光テーマ地区神奈川県協議会負担金				200
神奈川県観光振興対策協議会負担金				210
鎌倉藤沢観光協議会負担金				180
神奈川県観光協会負担金				90
北条五代観光推進協議会負担金				50
三浦半島観光連絡協議会負担金				500

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費
 ◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
 市民活動部観光商工課(観光担当)

【 職員給与費 】 (単位:千円)

主な支出内訳

職員給与費	43,442
・ 2節 給料 一般職	17,903
一般職職員 6人	
・ 3節 職員手当等	18,890
扶養手当	696
地域手当	2,938
通勤手当	546
超過勤務手当	4,810
休日給	74
管理職手当	986
期末勤勉手当	7,941
住居手当	419
管理職員特別勤務手当	0
児童手当	480
・ 4節 共済費	6,649
市町村職員共済組合負担金	

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光都市としての質の向上

観光振興事業

観光商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 観光
施策の方針 観光都市としての質の向上

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 多様な観光プログラムと鮮度の高い観光情報を提供するとともに、市民・事業者のホスピタリティの向上と観光客のモラルの向上を図るため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感の高揚が図られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ かまくら四季のみどころや観光マップなどのパンフレット類やホームページの充実を図り、観光客への適切な情報提供を行った。
- ・ 訪日外国人観光客の受入環境整備のため、外国語ガイド活動の支援を行った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、Wi-Fi接続環境整備事業を行った。
- ・ 国の地方創生加速化交付金を活用した光の波プロジェクト及び観光マイレージアプリの制作・活用事業に係る経費については、年度内に執行しないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,475	47,797	23,766	16,420	7,611
主な支出内訳				
11節	四季のみどころ印刷製本費			1,369
	課外授業ガイド印刷製本費			291
	屋外型観光拠点Wi-Fi接続に係る光熱水費(前年度からの繰越明許費)			1
13節	屋外型観光拠点Wi-Fi接続環境整備業務委託料(前年度からの繰越明許費)			8,582
	光の波プロジェクト事業委託料(翌年度への繰越明許費)			0
	Wi-Fi既存アクセスポイント設定変更業務委託料(前年度からの繰越明許費)			1,998
	Wi-Fi接続機器用電気引込柱設置等業務委託料(前年度からの繰越明許費)			1,654
	Wi-Fiスポット周知マップ作成業務委託料(前年度からの繰越明許費)			1,253
	Wi-Fiステッカー作成業務委託料(前年度からの繰越明許費)			160
	四季のみどころ編集業務委託料			1,212
	観光マップ「鎌倉」作成業務委託料			1,079
	外国語版パンフレット作成業務委託料			561
	観光ポスター作成業務委託料			454
	「知られざる幕末・維新の鎌倉」展示パネル作成及び設置等業務委託料			159
14節	屋外型観光拠点Wi-Fi接続環境整備業務に伴う土地賃借料等(前年度からの繰越明許費)			14
19節	屋内型Wi-Fi接続環境整備事業負担金(前年度からの繰越明許費)			4,479
	観光マイレージアプリ制作・活用事業負担金(翌年度への繰越明許費)			0
	外国語ガイド活動支援事業負担金			500
主な特定財源				
	・国県支出金			18,140

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○安全で快適な観光空間の整備

観光案内所運営事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 安全で快適な観光空間の整備

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光案内業務を通じて観光客の利便性を高めるため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感の高揚が図られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

・ JR鎌倉駅構内東口の観光案内所の運営を委託し、観光客に対し適切な情報提供を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,550	7,699	7,678		21

主な支出内訳

12節 観光案内所電信料	91
13節 観光案内所業務委託料	7,537
19節 観光案内所電気使用料負担金	50

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○安全で快適な観光空間の整備

観光施設整備事業

【 観光商工課 】

※重点事業(事業CD:6-2-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 安全で快適な観光空間の整備

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光基盤施設を整備し、観光客が安全で快適に観光できるようにするため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感の高揚が図られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・観光案内板等の新設・改修・修繕を行った。
- ・公衆トイレの修繕を行い、清潔で快適な空間確保に努めると共に、ハイキングコースの安全の確保を行った。
- ・鶴岡八幡宮裏公衆トイレ修繕設計業務委託については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,028	16,872	11,505	3,024	2,343
主な支出内訳				
11節 消耗品費				66
光熱水費				921
公衆トイレ等維持修繕料				1,654
12節 公衆トイレし尿処理手数料				1,386
備品倉庫消防設備点検手数料				13
13節 観光案内板作成委託料				901
浄光明寺公衆トイレ案内板作成業務委託料				34
協働型トイレ清掃委託料				0
ハイキングコース整備業務委託料				97
由比ガ浜大通り公衆トイレ清掃委託料				213
妙本寺公衆トイレ改築工事設計・地質調査業務委託料				3,434
大仏前駐車場トイレ誘導路整備業務委託料				248
大仏前駐車場トイレ案内板作成業務委託料				50
大仏前駐車場トイレ清掃等業務委託料				497
太刀洗観光案内板周辺草刈業務委託料				40
自転車ラック設置業務委託料				170
北鎌倉ポケットパーク周知啓発看板作成及び設置業務委託料				197
鶴岡八幡宮裏公衆トイレ修繕設計業務委託料(翌年度への繰越明許費)				0
14節 由比ガ浜大通り公衆トイレ賃借料				1,102
19節 ハイキングコースパトロール事業負担金				225
協働型トイレ事業負担金				0
公衆トイレ電気・水道使用料負担金				257
22節 道路等補償金				0

主な特定財源
・国県支出金

170

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○地域が一体となった観光振興の推進

観光振興支援事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 観光
施策の方針 地域が一体となった観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光事業者、観光団体、市民・市民団体など様々な観光主体が一体となり、地域全体で観光振興をするため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感の高揚が図られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉花火大会や俳句&ハイク、鎌倉ビーチフェスタなどに負担金を交付し、様々な鎌倉観光の魅力を伝えた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,609	11,609	9,405		2,204

主な支出内訳

19節 俳句&ハイク事業負担金	540
鎌倉ビーチフェスタ事業負担金	1,045
鎌倉花火大会実行委員会負担金	4,139
主要観光行事安全対策負担金	3,681

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○地域が一体となった観光振興の推進

観光協会支援事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 観光
施策の方針 地域が一体となった観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 鎌倉市観光協会・観光客等

意図 様々な観光主体のネットワークの中心となり、観光宣伝と観光客誘致を行う鎌倉市観光協会を支援するため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感の高揚が図られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市観光協会の運営や鎌倉まつり、薪能等の実施事業に対する支援を行い、鎌倉の観光振興の充実を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
42,918	42,918	42,918		0

主な支出内訳

19節 鎌倉市観光協会運営費等補助金

42,918

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 15 海水浴場費

◎観光 ○安全で快適な観光空間の整備

海水浴場運営事業

【 観光商工課 】

※重点事業(事業CD:6-2-2-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 安全で快適な観光空間の整備

【 事業の目的 】

対象 海水浴客等

意図 海水浴場の公衆衛生、危険防止及び秩序保持を図るため。

効果 海水浴客にとっては、安全に海水浴を楽しむことによる満足感の高揚が図られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 海水浴場開設に必要な電気・水道・放送設備やコースロープを整備した。
- ・ なぎさの整地、監視業務等を実施し安全確保を図った。
- ・ 安心で快適な海水浴場を実現するため、警備員の巡回や啓発看板の設置を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
60,758	60,758	60,208		550
主な支出内訳				
11節 消耗品費				171
燃料費				0
印刷製本費				99
光熱水費				223
12節 電信料				108
13節 海水浴場監視業務等委託料				27,344
砂防柵設置・撤去及びなぎさ整地業務委託料				4,990
放送設備及び放送塔設置委託料				1,898
コースロープ設置及び撤去業務委託料				1,428
仮設木橋設置等委託料				1,836
防犯灯及び監視所電灯配線設置等委託料				955
マナー看板作成業務委託料				829
海水浴場等警備業務委託料				13,898
海水浴場水道管敷設等委託料				605
海水浴場開き式会場設営等委託料				160
海水浴場関連廃棄物処理委託料				45
14節 監視所・仮設トイレ等賃借料				5,184
防犯カメラ賃借料				100
19節 海水浴場監視業務用電気・水道使用料負担金				335

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎防災・安全 ○地震対策・風水害対策の充実

がけ地対策事業

【 総合防災課 】

※重点事業(事業CD:5-1-1-5)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 地震対策・風水害対策の充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民の保護を図るため。

効果 防災工事を施工し市民の保護を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 既成宅地におけるがけ崩れや土砂の流出等による災害の発生を防ぐため、防災工事及び伐採工事の一部を助成した。
- ・ 県が指定する急傾斜地崩壊危険区域内で行われる市内の急傾斜地防災工事事業費の約2割を県に支払うとともに、防災工事の促進を働きかけ指定区域の拡大を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
93,098	99,098	94,581		4,517
主な支出内訳				
1節 事務補助嘱託員報酬 2人				2,056
9節 事務補助嘱託員費用弁償				110
11節 消耗品費				62
19節 急傾斜地防災工事負担金				54,509
神奈川県治水砂防協会等負担金				229
既成宅地等防災工事費補助金				37,219
既成宅地等防災工事費利子補給金				0
21節 既成宅地等防災工事費融資預託金				396

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費
 ◎防災・安全 ○危機管理対策

放射性物質測定事業

【 浄化センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 防災・安全
 施策の方針 危機管理対策

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 放射性物質の測定を行い、市民生活の安全を図るため。

効果 給食食材等の放射性物質の測定を行うことにより、市民生活の安全を確保する。

【 事業の内容 】

- ・ 学校や保育園の給食食材等の放射性物質を測定した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,596	3,596	3,071		525

主な支出内訳

7節	放射性物質測定事務臨時的任用職員賃金	2,145
11節	放射性物質測定用消耗品費(液体窒素等)	517
	放射性物質測定装置修繕料	85
13節	食品・環境放射性物質測定装置点検委託料	324

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道(水)路調査事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 道路整備
施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な市民生活の基礎となる道水路整備を的確に行うための道水路の境界確定を行う外、狭あい道路を拡幅整備することにより、防災・交通等都市機能の向上を図るため。

効果 道水路との境界が未確定の箇所をなくし、市内全域の道路・水路の管理区域を確定することでの的確な整備・管理を行うとともに、道路の後退用地を確保し、拡幅することで、安全で住みよいまちを実現する。

【 事業の内容 】

- ・境界確定申請に基づき現地調査を実施した。測量委託業者を選定し、土地所有者との立会を行い境界の確定後、境界確定図を作成した。
- ・市道の狭あい道路拡幅整備事業の申請を受け、測量業務を行い、道路用地を取得した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
68,632	68,632	65,958		2,674
主な支出内訳				
1節 事務補助嘱託員報酬 2人				1,200
7節 土地境界査定図交付事務等臨時的任用職員賃金				1,144
9節 事務補助嘱託員費用弁償				31
11節 消耗品費				52
印刷製本費				0
13節 境界査定立会等業務委託料				39,223
境界立会い140回、打合協議39回、石標埋設20本、金属標埋設42枚				
4級基準点測量(伐採なし)3,236.6m及び270点、同(伐採あり)308.4m及び20点				
境界点測量609点、査定図作成103,968.9㎡外				
狭あい道路拡幅整備事業境界査定立会等業務委託料				8,143
境界立会23回、打合協議1回、石標埋設11本、金属標埋設1枚				
4級基準点測量(伐採なし)335.8m及び44点、同(伐採あり)0m及び0点				
境界点測量107点、査定図作成18,702.7㎡外				
鎌倉市道053-101号線外変位観測測量業務委託料				223
14節 電子複写機賃借料				345
16節 境界査定用境界杭等原材料費				686
17節 狭あい道路拡幅用地等購入費				14,911
主な特定財源				
・国県支出金				6,354

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路台帳整備事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 道路整備
施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路法で調製及び保管が義務付けられている道路台帳の整備を行い、道路管理上の基礎的事項を総括して把握するため。

効果 良好な道路管理が可能となり、住民サービスの向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・道路状況の経年変化に伴う道路台帳の補正や認定路線網図の補正を行った。
- ・亡失や位置ずれ等が生じた既存境界点や基準点の復元等及び開発等における境界点の設置を行った。
- ・道路及び水路等の境界査定図を管理・交付するためのシステムを運用した。
- ・境界復元や開発等の境界設置に使用する境界杭等を購入した。
- ・地籍調査事業(官民境界等先行調査)により、道路・水路等の官有地と民有地との境界確定を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
64,803	64,685	62,325		2,360
主な支出内訳				
7節 法定外公共物等所管事務等臨時的任用職員賃金				2,268
13節 境界杭復元等業務委託料				33,521
4級基準点測量5,625.6m及び365点、石標埋設復元73本				
金属標埋設復元128枚、金鉋埋設復元527本、境界点復元測量898点				
地形測量5,341.8㎡、検査探索2,960点外				
道路台帳補正及び認定路線網図作成等業務委託料				10,206
基準点機能回復測量業務委託料				594
土地境界査定図管理システム保守業務委託料				1,205
都市基準点測量業務委託料				0
地籍調査事業測量等業務委託料				11,121
14節 土地境界査定図管理システム賃借料				2,753
16節 境界杭等原材料費				657
主な特定財源				
・国県支出金				7,599

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路施設管理事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路機能を良好に保持するため。

効果 多様化する生活環境や市民等の安全性・快適性の向上を図るため、常に良好で円滑な道路機能の保持を図る。

【 事業の内容 】

・道路利用者の安全性・快適性を保ち良好で円滑な道路機能を保持するための業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
98,041	104,753	98,397		6,356
主な支出内訳				
11節 消耗品費				391
燃料費				0
光熱水費				8,547
道路管理施設維持修繕料				1,946
12節 電信料				394
路上放置自動車リサイクル手数料				0
道路賠償補償保険料				851
13節 道路維持業務委託料				9,630
鎌倉駅通抜地下道清掃等業務委託料				227
鎌倉駅通抜地下道排水ポンプ・ディーゼルエンジン保守点検業務委託料				50
鎌倉駅通抜地下道排水設備ポンプ制御盤装置保守点検及び水槽清掃業務委託料				142
看板作成業務委託料				190
路上放置自動車処理業務委託料				1
大船駅監視設備保守管理業務委託料				648
大船駅管理施設警備監視等業務委託料				12,710
大船駅ペDESTリアンデッキ等清掃業務委託料				3,065
大船駅エレベーター等設備保守管理業務委託料				9,277
北鎌倉隧道の通行禁止に伴う歩行者誘導業務委託料				7,026
14節 大船駅西口ペDESTリアンデッキ用地賃借料				1,542
大船駅西口公共広場用地賃借料				40,639
公用車駐車場土地賃借料				418
19節 神奈川県道路利用者会議等負担金				136
22節 仮復旧等補償金				0
道路事故賠償金 3件				567

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

街路照明灯事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 夜間等の通行車両や市民等の安全確保のため。

効果 道路の街路照明灯の良好な維持管理を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 既存の街路照明灯の維持修繕等を行い、市民が安全な生活を送れるまちづくりを図った。
- ・ 安全な通行を確保するために街路照明灯の設置整備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,779	31,219	28,118		3,101

主な支出内訳

11節 市内街路照明灯電気料	23,907
街路照明灯維持修繕料	4,104
13節 街路照明灯設置業務委託料	107
14節 LED街路照明灯賃借料	0

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

防災安全部総合防災課(がけ地対策担当)

都市調整部(都市調整課風致担当を除く)

都市整備部のうち都市整備総務課・道水路管理課・建築住宅課(住宅担当を除く)・作業センター

【 職員給与費 】

(単位:千円)

主な支出内訳

職員給与費	826,976
・ 2節 給料 一般職	390,729
一般職職員 97人	
再任用(短時間) 10人	
・ 3節 職員手当等	305,757
扶養手当	13,952
地域手当	62,451
通勤手当	11,417
超過勤務手当	22,149
休日給	216
管理職手当	11,662
特殊勤務手当	5
期末勤勉手当	163,312
住居手当	15,388
管理職員特別勤務手当	0
児童手当	5,205
・ 4節 共済費	130,490
市町村職員共済組合負担金	129,540
社会保険料	373
雇用保険料	577

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

土木管理運営事務

【 都市整備総務課 】

※重点事業(事業CD:0-2-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方
分野 行財政運営
施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 部内各課

意図 事務事業の円滑な執行を行うため。

効果 事務事業の進行管理及び連絡調整を行うことにより、安全で快適な生活環境の整備を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 部内の一般会計に係る予算要求、執行管理、決算・監査に関する事項を行った。
- ・ 旅費及び郵便料の執行管理、工事の進行管理など部内の庶務を行った。
- ・ 社会基盤施設マネジメント計画の策定を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30,016	28,536	28,463		73

主な支出内訳

1節 社会基盤施設マネジメント計画策定委員会委員報酬 5人	344
11節 一般文具等消耗品費	93
13節 社会基盤施設マネジメント計画策定支援業務委託料	28,026

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

作業センター事業

【 作業センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方

分野 行財政運営

施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民の安全性、利便性、快適性への迅速な対応を確保するため。

効果 安全で円滑な交通の確保、親しみやすい河川・緑地等の形成を図る。

【 事業の内容 】

・道路、河川、緑地等の維持補修及び側溝、管水路のしゅんせつを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
121,189	121,189	106,081		15,108
主な支出内訳				
11節 補修用消耗品費				1,040
作業用車両燃料費				1,440
印刷製本費				0
光熱水費				90
道路管理施設等維持修繕料				20,626
備品修繕料				192
作業用車両修繕料				3,757
医薬材料費				37
12節 電信料				370
自動車リサイクル手数料				8
自動車自賠責保険料				9
13節 上町屋資材置場警備委託料				100
残土処分委託料				2,053
カーブミラー設置業務委託料				2,311
高圧洗浄による排水管路等しゅんせつ清掃業務委託料				7,601
道路側溝等しゅんせつ汚泥運搬処分業務委託料				3,340
道路・河川清掃等業務委託料				29,893
14節 維持補修用重機賃借料				2,781
FAX付コピー機賃借料				53
16節 補修用原材料費				28,268
18節 軽自動車備品購入費				1,804
22節 補修等補償金				0
27節 自動車重量税				308
*補修用原材料費内訳				
アスファルト合材	459.7t		10,336千円	
常温合材	170袋		496千円	
カーブミラー部材	84面		4,304千円	
グレーチング蓋	265枚		4,889千円	
U型側溝蓋等	232枚		335千円	

	生コンクリート他	1式	7,908千円
* 補修班による維持補修	アスファルト合材舗装工		677m ²
	アスファルト舗装打換工		674m ²
	排水溝等新設工		37.2m
	カーブミラー新設・補修工		270件

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

設計事務

【 建築住宅課 】

※重点事業(事業CD:0-2-1-4)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方

分野 行財政運営

施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全・快適な施設利用の促進及び維持管理費用(ランニングコスト)削減を図るため。

効果 安全・快適な施設利用、経済的な施設管理及び建物の長寿命化を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 建築設計積算業務に要する公的価格データを作成した。
- ・ 建築積算システム機器の賃借及び保守を行った。
- ・ 耐震化未対応である公共建築物の耐震診断等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
28,615	18,929	18,481		448
主な支出内訳				
1節 設計業務等補助嘱託員報酬 3人				4,320
9節 設計業務等補助嘱託員費用弁償				79
11節 消耗品費				421
印刷製本費				80
13節 市場物価データ作成業務委託料				1,237
市有建築物の耐震診断業務委託料				1,928
市有建築物の耐震改修設計業務委託料				5,886
14節 建築積算システム機器賃借料				2,360
営繕積算システムRIBC賃借料				1,602
マイクロフィルムスキャンシステム賃借料				482
電子複写機賃借料				86
主な特定財源				
・ 国県支出金				2,124

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎防災・安全 ○地震対策・風水害対策の充実

建築相談事業

【 建築指導課 】

※重点事業(事業CD:5-1-1-6)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 地震対策・風水害対策の充実

【 事業の目的 】

対象 昭和56年5月31日以前に建築された一戸建ての住宅・2世帯住宅・店舗併用住宅(いずれも在来工法で木造2階建て以下)・マンション等

意図 当該建築物等を所有する市民の安全を図るため。

効果 建築物等の安全性に対する市民の防災意識の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 窓口で耐震相談を受け、希望者に現地耐震診断を行い、診断費用を助成した。
- ・ 木造住宅の耐震改修工事や危険ブロック塀等の撤去を行った場合の費用を助成した。
- ・ 共同住宅等への耐震改修アドバイザーの派遣及びマンションの耐震診断費用を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,509	20,509	17,944		2,565
主な支出内訳				
8節 耐震改修アドバイザー派遣事業謝礼				17
13節 耐震相談業務委託料				357
19節 現地耐震診断補助金				2,850
木造住宅耐震改修工事費等補助金				12,800
危険ブロック塀等対策事業補助金				420
マンション耐震診断補助金				1,500
主な特定財源				
・ 国県支出金				7,434

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

都市調整運営事務

【 都市調整課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 市街地整備
施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 計画的な土地利用によるまちづくりの推進のため。

効果 災害に強く、市民の福祉を高め、かつ環境保全に配慮した安全で快適なまちづくりの実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市開発事業における手続及び基準等に関する条例等に関する業務を行った。
- ・ 開発事業等に係る公共施設管理者の同意及び協議に基づく協議書に関する業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,053	6,053	4,916		1,137
主な支出内訳				
1節 事務補助嘱託員報酬 2人、同(開発等許認可指導) 1人				4,211
9節 事務補助嘱託員費用弁償				324
11節 消耗品費				371
印刷製本費				0
19節 神奈川県八市開発許可研究協議会負担金				10

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

開発審査事務

【 開発審査課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 開発事業者等

意図 開発許可制度等を活用して、安全で住みやすい宅地の造成、秩序ある都市づくりを図るため。

効果 安全で快適な住環境の創造を図る。

【 事業の内容 】

- ・都市計画法及び宅地造成等規制法による各種申請等の受付、審査、許可書の交付を行った。
- ・開発行為、宅地造成工事の完了検査及び検査済証の交付を行った。
- ・開発許可等の違反に対する是正指導及び措置を行った。
- ・国が示す調査ガイドラインに基づき、大規模盛土造成地の位置と規模の把握等を行い、大規模盛土造成地マップの作成を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,536	10,380	10,375		5
主な支出内訳				
11節 一般文具等消耗品費				198
開発登録簿複写、カラーコピー等印刷製本費				155
12節 審査資料等謄写手数料				0
13節 大規模盛土造成地調査業務委託料				10,022
主な特定財源				
・国県支出金				3,340

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

建築指導事務

【 建築指導課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 建築確認申請者等

意図 建築物の安全の確保を図るため。

効果 安心して住める建築物の確保

【 事業の内容 】

- ・ 建築確認申請等に関する事務及び建築基準法に基づく許認可等に関する業務を行った。
- ・ 建築審査会に関する事務及び各種協議会等に関する業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,719	16,719	11,109		5,610
主な支出内訳				
1節	建築審査会委員報酬 3人			140
	事務補助嘱託員報酬 2人			2,056
7節	臨時的任用職員賃金			448
9節	事務補助嘱託員等費用弁償			23
11節	消耗品費			359
	印刷製本費			6
	維持修繕料			70
12節	特定行政庁団体賠償責任保険保険料			50
13節	特殊建築物等定期報告業務委託料			3,038
	建築基準法に基づく構造計算適合性判定業務委託料			156
	長期優良住宅の認定に係る技術的審査業務委託料			0
	低炭素建築物の認定に係る技術的審査業務委託料			0
	長期優良住宅等の認定に係る構造計算適合性判定業務委託料			0
	建築審査会等会議録作成業務委託料			91
	建築確認支援システム修正委託料			3,309
14節	建築確認支援システム機器賃借料			756
	建築行政共用データベースシステム等利用料			97
19節	神奈川建築コンクール負担金			120
	神奈川県建築物震後対策推進協議会負担金			215
	日本建築行政会議等負担金			175

建築基準法に基づく確認及び許可等状況

件 名	件 数
建築確認	42
計画適合通知	18
建築許可	102
仮使用承認	3
道路位置指定	2
長期優良住宅認定	174
低炭素建築物認定	6

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路橋りょう管理運営事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 道路整備
施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

・土木積算総合システム保守及び機器等の管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
37,961	37,961	37,938		23
主な支出内訳				
11節 消耗品費				344
印刷製本費				0
備品修繕料				32
13節 土木積算総合システム保守委託料				7,862
工事資材単価調査業務委託料				366
14節 土木積算総合システム機器賃借料				24,452
市町村システム使用料				4,320
電子複写機賃借料				562

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

防災安全部市民安全課(交通安全担当)

まちづくり景観部交通計画課

都市整備部道路課(整備担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

主な支出内訳

職員給与費	127,752
・ 2節 給料 一般職	56,321
一般職職員 15人	
再任用(短時間) 2人	
・ 3節 職員手当等	52,666
扶養手当	1,793
地域手当	8,865
通勤手当	1,672
超過勤務手当	12,588
休日給	402
管理職手当	987
期末勤勉手当	23,099
住居手当	2,190
管理職員特別勤務手当	0
児童手当	1,070
・ 4節 共済費	18,765
市町村職員共済組合負担金	

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎総合交通 ○交通安全意識の高揚

交通安全対策事業

【 市民安全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 交通安全意識の高揚

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 交通環境の改善を図り、関係機関等との連携により、交通安全教育をはじめ各種交通安全対策を推進し交通事故による死傷者数の減少を図るため。

効果 交通事故及び死傷者の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市の交通安全を推進するため、市内交通関係機関及び団体相互の連絡を密にし、総合的・効果的な交通安全対策を推進し、交通事故防止を図るための各種事業を実施した。
- ・ スクールゾーンの交通安全対策として、カラー舗装等を実施した。
- ・ 富士見町駅下横断歩道に、交通誘導員を通学時間帯に配置した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,803	17,803	16,148		1,655
主な支出内訳				
1節 交通安全教育指導員報酬 3人				4,620
8節 自転車教室指導員謝礼				408
9節 交通安全教育指導員費用弁償				401
11節 消耗品費				86
12節 交通安全教室損害保険料				30
13節 スクールゾーン対策業務委託料				4,407
富士見町駅下交通誘導業務委託料				745
19節 鎌倉市交通安全対策協議会補助金				5,131
鎌倉交通安全協会補助金				160
大船交通安全協会補助金				160
22節 交通安全教室参加者賠償金				0

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎総合交通 ○駐輪対策の推進

放置自転車防止事業

【 交通計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 総合交通
施策の方針 駐輪対策の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 自転車等の放置防止により市民等の通行の安全、災害時の緊急活動の円滑化を図るため。

効果 駐輪場整備及び放置自転車等の警告移動を行い、市民等の通行の安全を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 駐輪場への誘導及び放置自転車等に対する警告や、警告後も移動しない放置自転車等の移動を委託した。
- ・ 放置しづらい環境づくりのため、歩行者の通行に配慮したプランター等の設置を委託した。
- ・ 市が管理する駐輪場の巡回管理及び自転車等保管場所の警備を委託した。
- ・ 保管期間が経過した自転車等のうち、リサイクルされないものの処分を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
46,666	42,943	41,988		955
主な支出内訳				
1節	放置自転車等返還業務嘱託員報酬 9人			8,639
	事務補助嘱託員報酬 2人			2,056
9節	事務補助嘱託員費用弁償			129
11節	消耗品費			115
	印刷製本費			0
	光熱水費			322
	放置自転車等保管場所維持修繕料			198
12節	電信料			77
	放置自転車等賠償責任保険料			39
13節	放置自転車等廃棄処分業務委託料			127
	放置自転車等保管場所警備業務委託料(大船)			87
	放置自転車等保管場所警備業務委託料(鎌倉)			142
	放置自転車等防止対策看板設置委託料			402
	放置自転車等防止対策業務委託料			27,291
14節	稲村ガ崎自転車等駐車場土地使用料			177
	鎌倉駅西口第1自転車等駐車場土地使用料			2,187
16節	駐輪場設置及び修繕用原材料費			0
22節	放置自転車等賠償金			0

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

交通安全施設維持事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 道路整備
施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

・道路ラインの補修等を行い交通事故防止を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,497	4,497	3,405		1,092
主な支出内訳				
11節	ガードレール塗装等維持修繕料			458
	カラー舗装等維持修繕料			820
13節	道路ライン等設置業務委託料			2,127
	(区画線 延長3,065.6m、文字記号 延長854.8m、交差点鉤2箇所)			
22節	物件移転等補償金			0

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

交通安全施設整備事業

【

道路課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- 交通安全施設を改修し、安全で円滑な交通を確保するとともに、通学路の安全対策を実施した。

市道055-000号線の交通安全対策施設工事(歩道段差等改善)については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

市道046-000号線の交通安全対策施設工事(歩道段差等改善)を行った。

市道046-000号線の交通安全対策施設工事(ガードレール設置)を行った。

前年度からの繰越明許費により、市道055-000号線の交通安全対策施設工事(歩道段差等改善)を行った。

市道055-000号線の交通安全施設整備工事(側溝蓋改修)を行った。

前年度からの繰越明許費により、市道055-000号線の交通安全施設整備工事(舗装工、側溝蓋改修)を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
36,679	54,143	36,041	8,964	9,138
主な支出内訳				
15節 交通安全対策施設工事請負費				28,762
内訳				
山崎1222番地先(市道055-000号線)(翌年度への繰越明許費)			0	
歩道段差等改善11箇所				
梶原二丁目26番先(市道046-000号線)			8,305	
歩道段差等改善11箇所				
山ノ内1179番地先(市道046-000号線)			7,717	
ガードレール設置 延長140m				
山崎919番地先外(市道055-000号線)(前年度からの繰越明許費)			12,740	
歩道段差等改善10箇所				
交通安全施設整備工事請負費				7,279
内訳				
手広二丁目1番先(市道055-000号線)			3,553	
側溝蓋改修 延長21m				
常盤863番地先(市道027-000号線)			0	
寺分一丁目15番先(市道055-000号線)(前年度からの繰越明許費)			3,726	
舗装工 延長41.6m 面積62㎡、側溝蓋改修 延長41.1m				

主な特定財源
・国県支出金

6,569

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 10 道路維持費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路維持補修事業

道路課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・道路の維持補修を行い、安全で円滑な交通を確保し、事故防止に努めるとともに、通学路の安全対策を実施した。

市道025-068号線の道路維持修繕工事については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

市道005-000号線の道路維持修繕工事については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

市道055-000号線の道路維持修繕工事を行った。

市道068-000号線の道路維持修繕工事を行った。

市道017-000号線の道路維持修繕工事を行った。

市道060-000号線外の道路維持修繕工事を行った。

市道053-000号線の道路維持修繕工事を行った。

市道053-101号線の道路維持修繕工事については、継続費年割分の残額を、翌年度へ通次繰越した。

前年度からの繰越明許費により、市道212-082号線外の道路維持修繕工事を行った。

前年度からの繰越明許費により、市道209-058号線外の大船駅東口ペDESTリアンデッキ天甲板撤去工事を行った。

- ・市道434-046号線の北鎌倉隧道安全対策工事については、継続費年割分の残額を、翌年度へ通次繰越した。

- ・崩落土砂の除去を行い、通行の安全確保を図った。

- ・大町三丁目11番先(市道006-044号線)の法面の安全を確保するための詳細設計を行った。

- ・北鎌倉隧道安全対策事業負担金については、年度内に執行しないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
142,278	279,454	158,007	84,656	36,791
主な支出内訳				
11節 道路維持修繕料				3,828
13節 崩落土砂処分等業務委託料 4件				2,131
詳細設計業務委託料(大町三丁目11番先)				3,311
大船駅東口ペDESTリアンデッキ点検業務委託料				3,408
北鎌倉隧道安全性検証等業務委託料				4,860
道路詳細設計業務委託料(市道053-101号線)				2,419
市道434-046号線道路景観検討業務委託料				97
北鎌倉隧道(市道434-046号線)安全対策工事実施設計等業務委託料				2,138

裁判用資料・副本等作成業務委託料	669
15節 道路維持修繕工事請負費	116,246
内訳	
鎌倉山一丁目16番先(市道025-068号線)(翌年度への繰越明許費)	0
舗装工 延長57.9m 面積106㎡、排水工 延長41m	
大町五丁目1番先(市道005-000号線)(翌年度への繰越明許費)	0
暗渠工	
梶原一丁目1番先(市道055-000号線)	11,462
舗装工 延長71.0m 面積395㎡	
大船三丁目1番先外(市道068-000号線)	18,544
舗装工 延長218.2m 面積1,275㎡、排水工 延長8.4m	
腰越二丁目16番先(市道017-000号線)	15,390
舗装工 延長298.8m 面積865㎡、排水工 延長47.9m	
今泉台五丁目1番先外(市道060-000号線外)	6,677
舗装工 延長217.0m 面積1,432㎡、集水桝上部取替 2箇所	
玉縄二丁目14番地先(市道053-000号線)	11,381
舗装工 延長223.0m 面積1,054㎡、集水桝上部取替 1箇所	
岡本二丁目4番地先(市道053-101号線)(継続事業・27年度分)	10,245
現場打ち階段工 延長15.2m、道路擁壁工 体積21.1㎡	
長谷二丁目8番先(市道212-082号線外)(前年度からの繰越明許費)	9,142
舗装工 延長66.6m 面積208㎡、排水工 延長102.2m	
大船一丁目2番先(市道209-058号線外)(前年度からの繰越明許費含む)	33,405
天井板撤去 面積1,530㎡	
北鎌倉隧道安全対策工事請負費	18,900
山ノ内520番地(市道434-046号線)舗装打換・排水整備(継続事業・27年度分)	
法面工土工 1式、舗装工 延長12.0m 面積45㎡	
19節 北鎌倉隧道安全対策事業負担金(翌年度への繰越明許費)	0
22節 物件移転等補償金	0
主な特定財源	
・国県支出金	1,571

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 15 道路新設改良費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路新設改良事業

【

道路課

】

※重点事業(事業CD:5-4-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境及び生活環境の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 岩瀬今泉周辺の交通対策のための砂押川沿い道路の歩道整備工事については、前年度からの繰越分を含めて実施したが、当年度分を年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・ 大規模住宅地等の道路改良整備工事を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
284,371	383,141	217,409	148,619	17,113
主な支出内訳				
15節 砂押川沿い歩道整備工事請負費(前年度からの繰越明許費含む)				107,656
砂押川沿い歩道整備工事請負費(翌年度への繰越明許費)				0
大規模住宅地等道路改良整備工事請負費				109,753
内訳				
津1147番地先(腰越1716番地11先)(市道022-010号線)			14,064	
舗装工 延長195.0m 面積1,008㎡				
梶原二丁目1番先(市道047-047号線)			21,381	
舗装工 延長224.1m 面積1,336㎡				
笛田二丁目13番先(市道043-018号線)			22,610	
舗装工 延長301.5m 面積1,632㎡				
西鎌倉一丁目4番先(市道023-000号線)			37,574	
舗装工 延長380.7m 面積3,528㎡				
腰越1532番地先(市道022-000号線)			14,124	
舗装工 延長292.2m 面積1316㎡				
22節 物件移転等補償金				0
主な特定財源				
・国県支出金				79,516
・地方債				40,200

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 20 橋りょう維持費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

橋りょう維持補修事業

【

道路課

】

※重点事業(事業CD:5-4-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 橋りょうの長寿命化修繕計画を策定した。
- ・ 劣化が著しい箇所の補修等により、安全な交通を確保した。
- ・ 腰越三丁目1番先(神戸橋)の橋りょう維持修繕等工事については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
71,601	83,147	21,084	50,000	12,063
主な支出内訳				
11節 高欄等維持修繕料				1,299
人道部修繕(砂押川5号橋)				
13節 橋りょう長寿命化修繕計画策定業務委託料				4,683
橋りょう詳細設計業務委託料(神戸橋)				8,082
15節 橋りょう維持修繕等工事請負費				7,020
内訳				
腰越三丁目1番先(神戸橋) 耐震補強等(翌年度への繰越明許費)			0	
十二所919番地先(滑川4号橋)高欄取替え等補修			0	
浄明寺五丁目1番先(虹の橋)高欄取替え等補修			7,020	
22節 物件移転等補償金				0
主な特定財源				
・国県支出金				4,101

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費

◎下水道・河川 ○水辺環境の整備・創出・管理

河川管理運営事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 水辺環境の整備・創出・管理

【 事業の目的 】

対象 道路・河川維持管理協力団体等

意図 良好な市道・河川管理事業の円滑な推進を図るため。

効果 協力団体と連携し、良好な水辺環境を目指し、親しまれる川づくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・河川の良好な環境を維持するため、清掃等維持管理作業及び環境実態調査等を協力団体に依頼した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,490	1,490	1,459		31

主な支出内訳

8節 河川維持管理協力団体報償費	210
11節 消耗品費	20
14節 浸水対策排水施設用地土地賃借料	1,229

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【 職員課 】

【 対象となる職員 】
都市整備部下水道河川課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

主な支出内訳

職員給与費	26,525
・ 2節 給料 一般職	13,179
一般職職員 3人	
再任用(短時間) 1人	
・ 3節 職員手当等	9,481
扶養手当	514
地域手当	2,054
通勤手当	822
超過勤務手当	367
管理職手当	0
期末勤勉手当	5,083
住居手当	596
児童手当	45
・ 4節 共済費	3,865
市町村職員共済組合負担金	3,827
雇用保険料	38

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 10 河川維持費

◎下水道・河川 ○水辺環境の整備・創出・管理

河川維持補修事業

【 下水道河川課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 水辺環境の整備・創出・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るとともに、市民等に親しまれる河川づくりを進めるため。

効果 河川護岸の崩壊等を未然に防ぐことや、市民等に親しまれる河川づくりを目指す。

【 事業の内容 】

- ・ 準用河川神戸川の維持修繕工事を行った。
- ・ 準用河川砂押川の維持修繕工事については、前年度からの繰越分を含めて実施した。
- ・ 準用河川のしゅんせつを行った。
- ・ 神奈川県下の治水及び利水に関する企画、調査及び研究や治水及び利水事業の促進を目的として、県内市町村で構成されている、神奈川県河川協会へ参加した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,723	18,355	15,819		2,536
主な支出内訳				
11節	河川管理施設突発的維持修繕料			3,707
	滑川維持修繕料			998
12節	県道復旧にかかる手数料			0
13節	準用河川しゅんせつ業務委託料			1,143
	河川管理施設調査業務委託料			324
	家屋調査業務委託料			0
15節	準用河川維持修繕工事請負費			9,582
	内訳			
	準用河川神戸川(腰越1601番地先 護岸根固工 延長17.5m)		3,003	
	準用河川砂押川(岩瀬671番地先 護岸根固工 延長22.5m)		6,579	
	(前年度からの繰越明許費含む)			
19節	神奈川県河川協会負担金			65
22節	地下埋設物移設等補償金			0
	工事等に起因する家屋等損害賠償金			0

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 10 河川維持費

◎下水道・河川 ○水辺環境の整備・創出・管理

雨水施設維持管理事業

【 下水道河川課・浄化センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 水辺環境の整備・創出・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るため。

効果 雨水調整池やゲート類等の雨水排水施設について、良好な状態を保持する。

【 事業の内容 】

- ・ 雨水調整池(玉縄・台・腰越・笛田・ハイランド・岡本・城廻)やゲート類等の雨水排水施設について、良好な状態を保持するため、定期点検等を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,822	20,822	14,789		6,033
主な支出内訳				
11節 消耗品費				290
燃料費				28
印刷製本費				0
雨水調整池光熱水費				6,575
雨水調整池管理施設維持修繕料				2,515
備品修繕料				54
12節 電信料				1,046
台調整池自家用電気工作物点検等手数料				1,430
13節 フラップゲート点検委託料				605
雨水調整池しゅんせつ業務委託料				0
玉縄調整池発電機棟建物警備委託料				93
水処理施設等運転管理業務委託料(雨水調整池巡回点検)				1,083
玉縄調整池流入ゲート点検業務委託料				225
玉縄調整池計装設備点検業務委託料				440
腰越調整池ポンプ機器総合点検業務委託料				405

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎歴史環境 ○歴史的風土の保存

風致地区事務

【 都市調整課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち
分野 歴史環境
施策の方針 歴史的風土の保存

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市の風致の維持、歴史的風土の保存、緑地の保全を図るため。

効果 「鎌倉」の環境の維持

【 事業の内容 】

- ・ 風致地区内行為許可事務、近郊緑地特別保全地区内行為許可事務及び特別緑地保全地区内行為許可事務を行った。
- ・ 歴史的風土保存区域内行為届出受理事務及び近郊緑地保全区域内行為届出受理事務を行った。
- ・ 古都保存法の啓発及び歴史的風土特別保存地区での行為許可、制限等について周知を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,697	1,697	1,365		332
主な支出内訳				
1節 事務補助嘱託員報酬 1人				1,028
都市計画審議会風致部会委員報酬				0
9節 事務補助嘱託員費用弁償				82
11節 消耗品費				39
印刷製本費				2
風致地区内標柱維持修繕料				179
19節 古都保存連絡協議会負担金				35
主な特定財源				
・ 国県支出金				175

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑政運営事業

【 みどり課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 緑の基本計画に沿った施策展開による計画を実現するため。

効果 緑の基本計画に基づき、種々の施策を展開し、緑豊かな都市環境の形成と市民の安全・快適な生活の確保を図る。

【 事業の内容 】

・ 緑の保全、創造等、緑政の重要事項に対して方向付けを行うため緑政審議会を開催した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,136	1,136	984		152

主な支出内訳

1節	緑政審議会委員報酬 9人	164
	緑化推進専門委員報酬 1人	408
8節	緑政審議会の審議に関する事前打合せに伴う報償費	2
11節	消耗品費	108
	印刷製本費	63
19節	森林協会等負担金	239

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑地取得事業

【

みどり課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 緑の基本計画に基づく保全すべき緑地や、特別緑地保全地区内の土地の所有者

意図 都市緑地法に基づく買い入れの申出に伴う取得及び法指定前の緑地保全の緊急対応のため。

効果 保全すべき緑地を確保する。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉近郊緑地特別保全地区内における行為の不許可処分に伴う買入申出により、都市緑地法第17条に基づき緑地を買入れた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
180,402	168,277	168,277		0
主な支出内訳				
13節 鎌倉近郊緑地特別保全地区不動産鑑定評価業務委託料				270
17節 鎌倉近郊緑地特別保全地区土地公有財産購入費				168,007
主な特定財源				
・ 国県支出金				92,400
・ 地方債				68,000

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑化啓発事業

みどり課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 みどり
施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 緑の基本計画の周知を図り、市民と連携して緑の環境づくりを推進するため。

効果 緑地等の保全、管理活動を市民と連携して推進し、市域全体を緑豊かにすることにより、これまで確保してきた緑地や都市公園等の機能を高める。

【 事業の内容 】

- ・ 市民との連携による緑の環境づくりを推進するため、緑の学校、緑のレンジャー等の緑化啓発事業に関する業務を委託し、緑化啓発に努めた。
- ・ 敷地が道路に接する部分を新たに緑化する者に補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,743	4,743	4,740		3
主な支出内訳				
8節	ポスターコンクール優秀賞等報償費			111
11節	消耗品費			31
13節	緑化啓発に関する業務委託料			3,581
	＜委託業務内容＞			
	○緑の学校の企画・運営等			
	(参加者数=48名 開催回数=10回(延340名))			
	○緑のレンジャー・ジュニアの企画・運営等			
	(参加者数=45名 開催回数=11回(延364名))			
	○緑のレンジャー・シニアの企画・運営等			
	(参加者数=22名 開催回数=11回(延180名))			
	○緑のレンジャー自主活動グループの支援・育成等			
	(参加者数=延473名 開催回数=18回)			
19節	第27回鎌倉市緑化まつり事業負担金			160
	まち並みのみどりの奨励事業補助金			857
	(件数=11件 総延長=118.0m)			

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

樹林維持管理事業

公園課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 みどり
施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 良好な状態の樹林地を保育しようとするため。

効果 樹木の健全な生育と生態系を含む豊かなみどり空間を市民に提供する。

【 事業の内容 】

- ・ 対象樹林地を6分割し、毎年度1地区ずつ順番に、枝払いや枯損木・倒木の処理、除間伐などの業務を委託した。
- ・ 平成27年度は、八幡宮(二階堂全域、西御門全域、雪ノ下一・二丁目)地区を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,119	11,119	9,190		1,929

主な支出内訳

13節 樹林維持管理委託料

9,190

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑地保全事業

【 みどり課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 みどり
施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 美観上優れた樹木・樹林・生垣の指定や、秩序ある市街地形成に必要な樹林地に対し、所有者の同意を得て、緑地保全契約を締結して保全するため。

効果 貴重な歴史的遺産と融合した緑地や豊かな自然環境を保全する。

【 事業の内容 】

- ・ 寄附金を緑地保全基金に積み立てた。
- ・ 保存樹林、樹木、生垣に対して奨励金を交付し、所有者に対して支援した。
- ・ 市街化区域にある緑地を保全するため、土地所有者と緑地保全契約を締結し奨励金を交付した。
- ・ 緑の基本計画に沿って確保した緑地のうち、荒廃が進む恐れのある樹林地等を質的に向上させるための整備業務を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
35,628	37,738	30,262		7,476
主な支出内訳				
8節	市民緑地愛護会報償金			30
13節	確保緑地の適正整備委託料 5件			2,410
19節	保存樹林奨励補助金			13,551
	194件 2,569,433.37㎡			
	保存樹木奨励補助金			599
	66件 334本			
	保存生垣奨励補助金			788
	111件 9,612.54㎡			
	緑地保全契約奨励補助金			8,804
	128件 564,785.28㎡			
25節	緑地保全基金新規積立金			133
	緑地保全基金利子積立金			1,264
	緑地保全基金寄附等積立金			2,683

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

風致保存会助成事業

【

みどり課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉の歴史的景観と豊かな自然環境を後世に伝えるために活動している(公財)鎌倉風致保存会の組織の充実を図り、自主的運営の強化を図るため。

効果 会員(市民等)と連携した緑の環境づくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 風致保存会を運営するための補助金を交付した。
- ・ 鎌倉市風致保存基金に積み立てた一般からの寄附金を同会へ寄附金として交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,512	12,072	11,838		234

主な支出内訳

19節 風致保存会運営費補助金	10,312
25節 風致保存基金寄附等積立金	763
26節 風致保存会寄附金	763

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

緑地維持管理事業

【

公園課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 防災に配慮しつつ、樹木伐採等を行うことにより、良好な緑地の維持管理を図るため。

効果 より適確な植生管理を行うことにより良質な樹林地の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 緑地の枝払いや倒木の恐れのある樹木の伐採等を行った。
- ・ 大雨等による災害を未然に防ぐため、落石防止網設置等の防災工事を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
34,229	34,339	32,179		2,160
主な支出内訳				
11節 消耗品費				5
光熱水費				41
管理施設維持修繕料				3,858
12節 電信料				44
緑地に関する賠償補償保険等保険料				1,631
13節 常盤山緑地管理施設警備委託料				130
緑地維持管理委託料				24,643
((仮称)稲村ガ崎1-1号緑地外75緑地 除草工156,655㎡)				
15節 緑地維持管理工事請負費				1,717
((仮称)浄明寺緑地 落石防止網設置工面積56㎡)				
22節 緑地に関する賠償金				110

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎都市景観 ○良好な都市景観形成事業の推進

都市景観形成事業

都市景観課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 都市景観

施策の方針 良好な都市景観形成事業の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 景観法の活用により、開発行為や建築行為等に対する景観誘導、市民・事業者への普及・啓発・支援、行政の先導的な都市景観形成事業の推進を図るため。

効果 古都としての風格を基調とし、地域の特性を生かした都市景観を守り、つくり、育てることにより、潤いと安らぎのある快適なまちづくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 古都としての風格ある都市景観形成を推進するための調査や助成などを行った。
- ・ 景観計画及び景観地区等の制度を運用し、良好な景観の形成を推進した。
- ・ 景観計画改定に向けて検討を行ったが、更なる検討を要するため、景観計画改定業務委託料を翌年度へ繰越した。
- ・ 景観重要建造物等の保全事業を推進するため、景観重要建造物等保全基金を設置した。
- ・ 鎌倉市屋外広告物条例の制定を含めた適正な規制・誘導策の検討及び普及啓発を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,334	17,408	6,959	3,780	6,669
主な支出内訳				
1節	景観審議会委員報酬 10人			236
8節	景観アドバイザー報償費			51
11節	消耗品費			78
	印刷製本費			251
	FAX維持修繕料			0
12節	翻訳筆耕料			7
	違反屋外広告物除却協力員ボランティア保険料			22
13節	違反広告物除却業務等委託料			36
	行政刊行物販売委託料			11
	景観重要建築物等指定プレート制作設置委託料			50
	景観計画改定業務委託料(翌年度への繰越明許費)			0
19節	景観重要建築物等補助金			2,527
	景観形成協議会活動補助金			0
22節	違反屋外広告物除却協力員ボランティア保険賠償金			0
25節	景観重要建造物等保全基金利子積立金			0
	景観重要建造物等保全基金寄附等積立金			3,690

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎生活環境 ○海浜の環境保全

海浜保全事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 海浜の環境保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 海浜の保全と活用を図るため。

効果 樹林地、河川、海浜を一体としたネットワークにおいて海浜の環境と景観の保全を図る。安全で快適に過ごせる空間づくりと海浜の活用を図る。

【 事業の内容 】

・海浜保全に係る業務、神奈川県・鎌倉市・藤沢市・茅ヶ崎市サーフ90ライフセービング支援業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
465	465	299		166

主な支出内訳

11節 消耗品費	29
既存車止め等維持修繕料	0
12節 諸手続等手数料	0
13節 海岸の障害物処分等業務委託料	0
19節 サーフ90ライフセービング事業負担金	270

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

都市計画運営事務

【 都市計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市全域の土地利用・まちなみ

意図 都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって市域の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与するため。

効果 まちづくりの基本理念である「くらしに自然・歴史・文化がいきる古都鎌倉」(鎌倉市都市マスタープランより)を目指す。

【 事業の内容 】

- ・都市計画に関する事項の調査・審議のため都市計画審議会を開催するとともに、都市計画の決定・変更、都市計画事業の認可等の手続を行った。
- ・都市計画関連情報を更新し、都市計画図等の印刷を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、都市マスタープランの見直し作業を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、県下一斉に実施される市街化区域及び市街化調整区域の見直し作業を行った。
- ・都市計画業務支援システム用機器のリースを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,914	26,975	26,573		402
主な支出内訳				
1節 都市計画審議会委員報酬 13人				154
事務補助嘱託員報酬 1人				1,028
9節 事務補助嘱託員費用弁償				88
11節 消耗品費				331
印刷製本費				2,228
パソコン維持修繕料				0
医薬材料費				0
12節 筆耕翻訳料				0
13節 都市計画業務支援システム保守業務委託料				454
都市計画関連データ等修正業務委託料				821
市街化区域及び市街化調整区域の見直し等検討業務委託料 (前年度からの繰越明許費)				8,618
都市マスタープラン推進業務委託料(前年度からの繰越明許費)				12,495
14節 都市計画業務支援システム用機器等賃借料				346
19節 県都市計画実務担当者連絡協議会負担金				10
主な特定財源				
・国県支出金				283

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

市街地整備運営事業

【

再開発課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 大船駅周辺整備事務所(拠点整備部)

意図 部内の庶務及び施設の維持管理を行うため。

効果 事務事業の進行管理、連絡調整及び適切な施設管理を行うことにより、良好な職場環境の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 部内の予算要求、執行管理、予算・決算・監査に関する事項を行った。
- ・ 施設の適正な維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,617	3,617	2,694		923
主な支出内訳				
11節 一般文具等消耗品費				472
車両燃料費				113
光熱水費				709
事務所トイレドア設置等修繕料				226
備品修繕料				0
車両修繕料				100
12節 電信料				193
消防設備点検手数料				31
火災等保険料				74
13節 事務所警備業務委託料				75
事務所清掃等業務委託料				178
FAX・コピー複合機保守点検業務委託料				147
事務所カーポート撤去業務委託料				100
14節 NHK放送受信料				15
ジェイコム湘南受信料				6
電話設備賃借料				164
FAX・コピー複合機賃借料				84
27節 自動車重量税				7

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

古都中心市街地整備事業

【

再開発課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 市街地整備
施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 豊かな歴史的遺産と良好な自然環境を活かし、市民・来訪者が快適に共存できる風格と活力ある古都鎌倉の顔を再生・創造するため。

効果 鎌倉駅西口周辺地区では、駅前広場、交差点改良等の整備を進め、多くの市民・来訪者が快適に共存できる古都鎌倉の玄関口を整備する。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉駅西口周辺地区の課題を再整理し、段階的整備の可能性を検討した。
- ・ 鎌倉駅西口駅前広場の段階的整備に向けた、権利者対応・関係機関協議等を行った。
- ・ 事業の推進に必要な資料作成等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24	24	4		20
主な支出内訳				
11節 一般文具等消耗品費				4
陽画等印刷製本費				0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

深沢地域整備事業

【 深沢地域整備課 】

※重点事業(事業CD:5-2-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 市街地整備
施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の都市拠点の形成を図るため。

効果 全市的な課題や少子高齢化社会に対応したまちづくりが実現する。

【 事業の内容 】

- ・権利者との合意形成の再構築や生活再建策の立案等について、専門家の支援を受けるとともに、平成25年度から設置している換地、補償等に係る権利者の相談窓口を引き続き設置して対応を行った。
- ・平成26年度に実施した事業スキームの再構築、修正土地利用計画に係る事業性の精査、事業費の削減等の検討結果を基に、土地区画整理事業の実現化に向けて深度化を図った。
- ・修正土地利用計画に市民、権利者等の意見・要望等を反映させるため、平成27年8月から11月まで、市民参加によるワークショップ形式の「深沢地域整備事業のまちづくり意見交換会」を開催した。
- ・事業用地(A用地)について、平成26年度に実施した土壌汚染対策調査により汚染が判明したことから、対策処理を行った。
- ・取得済みの事業用地の管理を行った。
- ・湘南地区整備連絡協議会の運営を行うとともに、前年度からの繰越明許費により、村岡・深沢地区総合交通戦略の策定、新駅設置コスト縮減方策検討調査を行った。
- ・市街地整備についての情報収集を行うため、市街地整備促進協議会へ参加した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
48,344	90,734	79,464		11,270
主な支出内訳				
1節	事務補助嘱託員報酬 1人			1,028
8節	技術アドバイザー謝礼			153
9節	事務補助嘱託員費用弁償			61
11節	一般文具等消耗品費			477
	陽画等印刷製本費			0
13節	街区確定計算測量・基本設計等修正業務委託料			0
	深沢地区土地区画整理事業支援業務委託料			19,215
	深沢地区土地区画整理事業推進業務委託料			13,321
	深沢地域整備事業用地(A用地)土壌汚染状況調査(深度方向調査・地下水調査)業務委託料			2,106
	深沢地域整備事業用地(A用地)土壌汚染対策処理設計業務委託料			497
	深沢地域整備事業用地(A用地)土壌汚染対策処理等業務委託料			34,916
	深沢地域取得済用地管理業務委託料			1,540
19節	湘南地区整備連絡協議会負担金			100
	村岡・深沢地区拠点づくり検討調査負担金(前年度からの繰越明許費)			6,000
	市街地整備促進協議会負担金			50

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅周辺整備事業

【

再開発課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想に定める地区の将来像の実現に向けてまちづくりを進めていくため。

効果 ①商業拠点の形成と都市機能の強化による賑わいのあるまち②優しさと快適さを備えた魅力ある都市環境を創造するまち③活力に溢れ暮らしに文化の香りたようまちを創造する。

【 事業の内容 】

- ・各まちづくり計画の検証(到達度、課題抽出等)を行った。
- ・砂押川桜保全再生計画に基づく、住民主体の保全再生活動の支援を行った。
- ・大船駅北第二地区市街地再開発事業(横浜市:組合施行)に係る協議を行った。
- ・事業の推進に必要な資料作成等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,602	1,602	1,351		251
主な支出内訳				
1節 事務補助嘱託員報酬 1人				1,028
8節 鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援専門員謝礼				12
9節 事務補助嘱託員費用弁償				37
11節 一般文具等消耗品費				12
陽画等印刷製本費				0
13節 砂押川プロムナード枯枝胴ぶき等伐採処分業務委託料				262

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅西口整備事業

【

再開発課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大船駅西口の円滑な交通機能の確保、市民等の利便性と安全性の向上を図るため。

効果 大船駅西口の課題の解決により、歩行者との車両分離による安全性と快適性の確保が図れる。

【 事業の内容 】

- ・都市計画道路阿久和鎌倉線の未整備区間の解決策について、横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)の見直しの方針を決定した。
- ・大船駅西口交通広場の取扱方針(用地取得)を検討した。
- ・事業の推進に必要な資料作成等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
32	32	5		27
主な支出内訳				
11節 一般文具等消耗品費				5
陽画等印刷製本費				0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅東口再開発事業特別会計繰出金

【

再開発課

】

【 事業の内容 】

- ・ 大船駅東口再開発事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
65,509	50,634	50,634		0

主な支出内訳

28節 繰出金

50,634

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○道路・交通体系の検討

交通環境整備事業

【 交通計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 道路・交通体系の検討

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・市内の交通量を把握し交通対策上の基礎資料とするため、市内主要交差点等において、一般交通量及び渋滞状況調査並びに資料収集を行った。
- ・「パークアンドライド」及び「鎌倉フリー環境手形」について、交通関係事業者との調整を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,529	3,529	2,476		1,053
主な支出内訳				
11節 渋滞統計システム関連等消耗品費				783
印刷製本費				337
パークアンドライド案内看板等維持修繕料				0
13節 交通量調査業務委託料				1,145
19節 パークアンドライド自動発券機等負担金				211

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○道路・交通体系の検討

交通体系整備事業

【 交通計画課 】

※重点事業(事業CD:5-3-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 道路・交通体系の検討

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉地域の休日の交通渋滞を解消するために、市民・交通事業者・関係行政機関等で構成する「鎌倉市交通計画検討委員会」を開催し、市と地域住民・関係機関との協働による安全で快適な歩行環境の実現をめざすとともに、策定後経年した地区交通計画を検証した。
- ・ 鎌倉市交通計画検討委員会特別委員会(国の行政機関等で構成)の運営及び自動車利用の抑制策に関するシステム設計や法的な条件整理に関する調整資料の作成を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,865	13,865	11,712		2,153

主な支出内訳

1節	交通計画検討委員会委員報酬 23人	234
	交通計画検討委員会・特別委員会委員報酬 5人	84
8節	交通政策専門員報償費	0
9節	交通計画検討委員会委員費用弁償	0
13節	鎌倉地域地区交通計画策定支援業務委託料	6,685
	交通需要管理検討業務委託料	4,709

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

国県道対策運営事務

【

道路課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市計画法、道路法等に基づき国県道の整備・改良を促進し、良好な道路交通機能等の向上を達成するため。

効果 交通渋滞の緩和、災害時を含む緊急活動の円滑化を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 小袋谷跨線橋の架け替えを含む腰越大船線事業に関する協議・調整を行った。
- ・ 国・県等が施工する都市計画道路等に関する協議・調整を行った。
- ・ 供用中の国・県道に関する住民要望に対応した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,186	1,186	1,167		19
主な支出内訳				
1節 事務補助嘱託員報酬 1人				1,028
9節 事務補助嘱託員費用弁償				54
11節 消耗品費				19
印刷製本費				0
14節 会場使用料				0
19節 首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会負担金				30
関東国道協会負担金				36

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

国県道対策事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の促進を図るため。

効果 神奈川県及び市民等との連絡調整を行うことにより、都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の円滑な実施を図る。

【 事業の内容 】

・都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業に伴う事務事業の円滑な執行を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26	26	25		1

主な支出内訳

11節 一般文具等消耗品費

25

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路整備計画等運営事務

【

道路課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境の向上及び都市景観等の生活環境の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 神奈川県都市計画街路事業促進協議会に加入し、その活動により都市計画道路の整備の促進を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
52	52	52		0

主な支出内訳

19節 神奈川県都市計画街路事業促進協議会負担金

52

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

街路樹維持管理事業

【 公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 街路樹の適度な生育等を促し、緑豊かな道路空間の形成とまち並みを整え、市民との協働により適切な管理を行うため。

効果 まち並みを整えるとともに潤いある道路空間を提供し、公園緑地等と連携したみどりのネットワークの形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・街路樹を市民自らが守り育てる活動を行っている街路樹愛護会を支援するため、報償金の支給や花苗の配布を行った。
- ・街路樹の維持管理を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,180	17,180	15,751		1,429
主な支出内訳				
8節 街路樹愛護会報償費 21団体				1,295
11節 消耗品費				370
13節 大船駅東口花壇維持管理委託料				836
街路樹維持管理委託料				12,811
〔 荏柄天神街路外56路線除草19,130㎡ 低木刈込8,210㎡ 〕				
〔 市役所前街路外17路線 冬季剪定744本外 〕				
街路樹植替委託料				439

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

環境部環境保全課(環境保全担当)

まちづくり景観部のうち都市計画課・交通計画課・都市景観課・みどり課

都市調整部都市調整課(風致担当)

都市整備部のうち道路課(国県道対策担当)・公園課

拠点整備部(再開発課拠点整備総務担当及び再開発担当を除く)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

主な支出内訳

職員給与費	461,352
・ 2節 給料 一般職	208,683
一般職職員 54人	
再任用(短) 2人	
・ 3節 職員手当等	181,106
扶養手当	7,679
地域手当	34,168
通勤手当	6,014
超過勤務手当	13,470
休日給	213
管理職手当	11,763
期末勤勉手当	91,555
住居手当	11,684
管理職員特別勤務手当	5
児童手当	4,555
・ 4節 共済費	71,563
市町村職員共済組合負担金	

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 15 公共下水道費

◎下水道・河川 ○下水道の整備・管理

下水道事業特別会計繰出金

【

都市整備総務課

】

【 事業の内容 】

・ 下水道事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,265,800	2,301,847	2,301,847		0

主な支出内訳

28節 繰出金

2,301,847

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

公園運営事業

【 公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 散在ガ池森林公園に都市公園等緑化推進専門委員を配置し、樹木育成調査及び樹木病虫害防止の調査を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
128	170	170		0

主な支出内訳

1節	都市公園等緑化推進専門委員報酬 1人	68
19節	神奈川県公園緑地行政連絡協議会負担金	10
	日本公園緑地協会負担金	50
	全国都市公園整備促進協議会負担金	42

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

公園維持管理事業

【 公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な維持管理を図るため。

効果 適確な施設管理を行うことにより良質な公園の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 樹木剪定、草刈、小規模な修繕など良好な公園の維持管理を図るための業務を指定管理者に委託した。
- ・ 平成27年4月に開園した鎌倉広町緑地及び岩瀬下関防災公園の維持管理を行った。
- ・ 経年劣化により撤去した遊具などの交換及び市民要望による公園施設の設置等を行い、より市民ニーズに対応した公園の創造を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
304,012	304,012	293,226		10,786
主な支出内訳				
1節 鎌倉広町緑地指定管理者選定委員会委員報酬 5人				198
11節 消耗品費				918
燃料費				12
印刷製本費				248
光熱水費				231
維持修繕料(笛田公園庭球場及び野球場修繕外)				12,318
12節 電信料				90
手数料				12
ボランティア保険料				66
13節 都市公園(笛田公園を除く)指定管理料((公財)鎌倉市公園協会)				202,433
都市公園(笛田公園)指定管理料(三菱電機ライフサービス(株)湘南支社)				22,971
児童遊園等管理委託料				9,893
公園維持管理委託料(七里ガ浜東うずら公園外)				967
クラウドファンディング委託料				0
公園施設設置委託料				0
鎌倉広町緑地樹林管理業務等委託料				4,232
鎌倉広町緑地管理事務所警備委託料				102
鎌倉広町緑地維持管理委託料				7,533
岩瀬下関防災公園管理委託料				3,321
14節 児童遊園等土地賃借料(ふじみ児童遊園、山崎子どもの広場外)				24,087
梶原六本松公園土地賃借料				3,594
15節 鎌倉海浜公園由比ガ浜地区車庫設置工事請負費				0
19節 水道利用加入金				0
22節 公園維持に関する補償金				0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

公園整備事業

【 公園課 】

※重点事業(事業CD:3-1-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ (仮称)山崎・台峯緑地等の供用開始に向けて、樹林管理等を行った。
- ・ 七里ガ浜東地区内の街区公園をワークショップにおける再整備計画案に基づき、再整備を行った。
- ・ (仮称)山ノ内宮下小路2号緑地の供用開始に向けて、施設整備工事等を行った。
- ・ (仮称)笛田一丁目公園の供用開始に向けて、施設整備工事等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
91,975	91,975	83,386		8,589
主な支出内訳				
8節	社会資本総合整備計画(都市公園等)事後評価委員報償費			62
11節	消耗品費			72
	印刷製本費			32
12節	ボランティア保険料			0
13節	都市公園等整備事業用地樹林管理業務等委託料			4,766
	(仮称)山崎・台峯緑地設計業務委託料			1,275
	社会資本総合整備計画(都市公園等)事後評価業務委託料			1,501
14節	夫婦池公園用地賃借料			0
15節	七里ガ浜東地区街区公園再整備工事請負費			9,791
	(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地整備工事請負費			31,461
	(仮称)笛田一丁目公園整備工事請負費			34,306
22節	都市公園予定地等に関する賠償金			120
主な特定財源				
	・国県支出金			30,500
	・地方債			27,400

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

公園用地取得事業

公園課

※重点事業(事業CD:3-1-2-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ (仮称)山崎・台峯緑地用地を取得した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,322,387	1,277,410	1,110,828		166,582
主な支出内訳				
11節 消耗品費				110
印刷製本費				134
13節 (仮称)山崎・台峯緑地用地不動産鑑定評価業務委託料				605
(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地用地不動産鑑定評価業務委託料				0
17節 (仮称)山崎・台峯緑地用地購入費				1,109,979
(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地用地購入費				0
主な特定財源				
・国県支出金				369,850
・地方債				665,600

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○鎌倉らしい住まいづくり

市営住宅管理運営事業

【 建築住宅課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 住宅・住環境

施策の方針 鎌倉らしい住まいづくり

【 事業の目的 】

対象 住宅に困窮している市民及び市営住宅入居者

意図 市営住宅の入居者選考を行うとともに、市営住宅建物の修繕等により適正な管理・運営を行うため。

効果 市営住宅入居の公平性及び入居者が安心して住める居住環境を確保する。

【 事業の内容 】

- ・市営住宅入居者選考委員会の開催など、市営住宅の運営に係る事務を行った。
- ・市営住宅の改修工事及び指定管理者による維持管理を行った。
- ・借り上げ住宅の賃借料の支払を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
145,935	165,706	165,277		429
主な支出内訳				
1節	入居者選考委員会委員報酬 4人			42
	市営住宅指定管理者選定委員会委員報酬 4人			74
8節	市営住宅抽選会立会人謝礼			10
11節	消耗品費			69
	印刷製本費			16
	市営住宅各種維持修繕料			21,355
12節	裁判手続手数料			0
13節	公営住宅電算システム保守点検業務委託料			686
	市営住宅等指定管理料			38,006
14節	公営住宅管理システム用機器等賃借料			674
	福祉型借上市営住宅賃借料			94,542
15節	市営梶原東住宅第3, 4号棟北側窓手摺等改修工事請負費			8,100
19節	神奈川県公共住宅供給推進協議会負担金			3
	市営住宅管理費等負担金			1,690
22節	地上デジタル放送電波障害補償金			10
主な特定財源				
	・国県支出金			2,843

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○鎌倉らしい住まいづくり

住宅政策推進事業

【 建築住宅課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 住宅・住環境

施策の方針 鎌倉らしい住まいづくり

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 若年ファミリー層の転入促進と転出抑制、高齢者・障害者等が暮らし続けることができる住宅施策を推進し、安心して住むことができる環境を整える。

効果 人口の年齢構成バランスに配慮した住まいづくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 若年ファミリー層転入促進等の施策の推進及び住宅マスタープランに掲げる住宅施策の展開を図った。
- ・ 高齢者、障害者及び子育て世帯の民間賃貸住宅への入居の支援を行った。
- ・ 空き家の実態調査を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,831	6,297	6,161		136
主な支出内訳				
8節 住宅政策アドバイザー報償費				0
13節 あんしん賃貸支援事業による入居支援業務委託料				272
空き家実態調査業務委託料				5,889
主な特定財源				
・ 国県支出金				2,959

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【 職員課 】

【 対象となる職員 】

都市整備部建築住宅課(住宅担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

主な支出内訳

職員給与費	34,750
・ 2節 給料 一般職	16,321
一般職職員 4人	
・ 3節 職員手当等	12,561
扶養手当	392
地域手当	2,653
通勤手当	205
超過勤務手当	826
休日給	22
管理職手当	972
特殊勤務手当	2
期末勤勉手当	6,669
住居手当	820
管理職員特別勤務手当	0
児童手当	0
・ 4節 共済費	5,868
市町村職員共済組合負担金	